

WE LOVE 北鯖石 はばたこう未来へ！

北 星



柏崎市立北鯖石小学校

学校だより 410 号

令和5年 7月 発行

柏崎市 中田1743-2

TEL 0257-22-4454

FAX 0257-20-1753

E-mail kitasaba@kenet.ed.jp

続けるって大事ですね

～めあてをもって有意義な夏休みを～

校 長 梅川 豊

新型コロナウイルスが第5類に変更されてから約2カ月がたち、令和5年度の前半は、運動会、修学旅行、自然教室、八石登山、校外学習、親子活動等の児童の活動範囲がどんどん広がってきました。感染症流行以前の教育活動に戻りつつあります。それに合わせ、夏休みの子どもたちの活動も幅が広がることでしょう。

いよいよ34日間の夏休みです。夏休みを迎える会では、「勉強でも、生活でも、運動でもかまいませんので、夏休みはこんなことを毎日がんばったよ！とみんなに報告できるめあてをもって、生活できるといいですね」という話をしました。

毎日継続することの大切さを表す話として、江戸時代の儒学者である新井白石氏のエピソード「一粒の米」があります。有名な話ですからご存じの方もいらっしゃるかもしれませんが。新井白石が子どもの頃、父親から言われたことです。米びつから米一粒を取っても、入れても量の変化はわからない。一日勉強したから利口になるわけでもない。一日怠けたから愚かになるわけでもない。しかし、1年、2年と続けていけば必ず変化が見えてくるという内容です。夏休みは土日も含めて34日ほどですが、夏休みの過ごし方も同様ではないでしょうか。得意な学習を伸ばす、苦手な学習でもがんばる、家の手伝いを決めて毎日続ける、朝起きる時間を決めて規則正しい生活を続ける、など…。何か続けられるものを見付け、この夏休み中に続けられれば必ず得るものがあります。継続できるものは、夏休み後も続けられるとさらに素晴らしいと思います。お家の方からも相談に乗っていただけるとありがたいです。

子どもたちが何より楽しみにしている夏休みですが、この時期子どもにかかわる海や山の事故、交通事故、熱中症により重篤な状態に陥るなど、残念ながら毎年日本各地で発生しています。特に、旅行先、日常と異なる環境にあるときは注意が必要です。ゆとりをもって過ごすことのできるお子さまにとって有意義な夏休みにしていただければと思います。これまで身につけてきた規則正しい生活のリズムを大切に維持し、夏休みの経験がその後の学校生活をさらに充実させるきっかけとなりますようお願いいたします。



1年生親子活動「ザリガニ釣り」

8月・9月の主な予定

月/日	予 定 等	月/日	予 定 等
8/11	学校閉庁日（～16日）	9/8	授業参観・学年懇談会（午後）
8/24	夏季休業終了日	9/20	星野スクールカウンセラー来校日
8/25	学習スタート会	9/22	学校保健委員会
9/1	第2回避難訓練	9/25	第2回生活がんばり週間（～10/1）
9/6	小中演劇鑑賞教室（5, 6年生参加）	9/26	親善陸上大会（6年生参加） 予備日9/27

北鯖石小 NOW

* 学校の教育活動の様子、子どもたちが頑張っている姿等を紹介します。

ESD集会

北鯖石小のESD教育（持続可能な社会の創り手を育てる教育）では、自立と自律の心を育てるため、「自然・地域・せかい・いのち」を重視した活動に取り組んでいます。

今年度も6月26日（月）、新潟産業大学のご協力を受け、外国の方と触れ合う「ESD集会」を実施しました。今回はモンゴル・中国・韓国からの3人の留学生の方をお迎えし、各国の特色や魅力について教えていただきました。国が違くと、言葉も文化も環境も全く違います。他国の方と直接触れ合ったり、話を聞いたりすることは、子どもたちにとってとても有意義な時間になりました。



水球体験をしました

7月の体育では特別授業として「ブルボンウォーターポロクラブ柏崎」の選手の方々から「水球」を教えていただきました。普段の「水泳」とはちょっと違う「水球」にみんな楽しそうに活動していました。



低学年、中学年、高学年ごとの学年に合わせた指導をしていただき、子どもたちも大変楽しそうに活動していました。「水球のまち」柏崎ならではの体験でした。

学校のホームページが随時更新されています。ご覧ください。<http://kedu.kenet.ed.jp/kitasaba/>